新十津川町立新十津川中学校

校長　　國　行　宏　昭

生徒数　　１６２名

学級数　　８（２）学級

職員数　　１７名

―　自分らしい生き方を求め、学び続ける生徒を育成する学校経営　―

「自分らしい生き方を求め、学び続ける生徒」の育成を目指し、対話を重視し、ともに学び合う指導の充実を研修の柱に掲げ、授業実践に努めている。

特に、平成２９年度からは、研究主題を「共に学び合い、深め合う生徒の育成」と設定し、組織的・計画的な校内研修を推進し、生徒が自らの力で課題を追究し、仲間とともに主体的・協働的に学び合う授業づくりに大きな成果を上げている。

―　人とつながり、地域とつながり、生き方を考えるキャリア教育　―

３年間の系統性をもたせたキャリア教育では、テーマを「地域の中で生きる私たち～自己の生き方を考える～」と設定し、地域の教育資源を活用した教育活動の充実に努めている。

特に、新十津川町のＰＲ活動、町内の大人から学ぶ職場体験、福祉施設等との交流活動などを通して、ふるさとに愛着と誇りをもち、他者と協働し、社会参画意識の向上を図る取組に大きな成果を上げている。

―　地域・家庭・学校がともに育つ教育活動　―

平成３０年度に設置した新十津川町コミュニティ・スクールでは、地域総ぐるみで生徒を育てるシステムづくりを推進し、地域、保護者、学校、行政が役割と責任を分担・協働し、生徒が自分らしく生き生きと学ぶ学習環境の整備に取り組んでいる。

特に、学習支援では、学校のニーズを学校運営協議会に伝えることで、地域人材の活用が図られ、地域の活性化に大きな成果を上げている。

―　生徒の力を引き出す、活気ある学校　―

学校に行くと、いつも生徒たちの元気な挨拶の声が聞こえてきます。

日々の学校生活の中で先生方が生徒たち一人一人を認め、励まし、強い信頼関係をもとに生徒たちの主体性を伸ばしていこうと努力していることが、授業参観や行事などの様子から伝わってきます。

生徒たちが自分らしさを発揮し楽しく学校生活を送る姿を見て、保護者としてうれしく思います。（保護者の声）